

## 後期基本計画 令和 3年度 基本施策方針書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 木下昇三
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	<p>4年後における滝沢市全体の目標は総合計画の達成であり、当基本施策ではそれに向けた総合計画の全体進捗の的確な管理を行います。</p> <p>また、さらにその先を見据え、多様化が進む中での未来における滝沢市の価値づくりを進めます。</p>
--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 総合計画を知っている人の割合 単位 %	15.6	24.4	33.4	42.4	50	50	-
			17.3	0	-	-	-	0.0
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	58.7	62.5	65	67.5	70	70	-
			65.4	0	-	-	-	0.0
	単位							

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 06020100 総合計画を軸としたマネジメントの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	-
			70.6	0	-	-	-	△59.3
2	暮らし 06020200 未来に向けた滝沢の価値の創造 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	-
			69.1	0	-	-	-	△101.9
3	暮らし 06020300 価値の創造に向けた情報の発信と活用 普段の生活に必要な情報が伝わっていると感じている人の割合 単位 件	49.2	50	55	58	60	60	-
			44.5	0	-	-	-	△43.5
	単位							
	単位							

## 後期基本計画 令和 3年度 基本施策方針書

政 策：06 次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門

基本施策：02 総合計画の推進と未来の価値の創造

主管課長職・氏名	企画政策課長 木下昇三
関係課長職・氏名	

## 2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

## (1) 基本施策目標の進捗状況分析

総合計画の推進を図るためには、市民の総合計画への理解が重要であると考え、目標値として「総合計画を知っている人の割合」を掲げています。平成29年度値で15.4%、平成30年度値で15.6%、令和元年度値で17.3%となっており、後期基本計画の目標値である50%に比べ低い値となっています。そのため、地域社会アンケート、ホームページ、広報紙での周知に努めており、特に、若い世代への周知のため大学等と連携し周知活動を行っております。総合計画を推進していくためには、市民、地域、行政等の連携が重要であり、連携を生む事業の創出が必要となっています。また、多様化が進む中で総合計画を推進するためには、新たな連携、常に先を見据えた企画や事業創出が必要です。特に、コロナ禍においては、市民の暮らしに大きな変化があり、また、新たな価値観も生まれております。

## (2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

高度経済成長期の経済社会システムの崩壊、経済を中心としたグローバル化の進展、少子化、高齢化、人口減少社会、高度情報化により経済、社会システムの大きな変革期を迎えております。また、これらの変革を背景に、人々の価値観も多様化が進んでおり、ヒト、モノ、カネなどの資源が少なくなる中で、市民それぞれの多様化にどの様に対応していくかが大きな課題となっています。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響は市民の暮らしや経済活動にも大きな変化を与えております。これらの大きな変化の中において、ソーシャルキャピタルなど様々な視点からの取組が重要となっています。また、広域的な行政を含めた地域間での連携も視野に入れた地方での課題を解決する新しい枠組みの検討も必要となってきています。

## (3) 政策との関連性

政策である「次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門」は、総合計画の推進を支える「ヒト・モノ・カネ・情報」の経営資源を持続的に確保し、配分する政策です。当基本施策は総合計画を進めるためのマネジメント、総合計画を推進するための情報収集、情報発信、更には、総合計画の推進に加速度を与えるための新たな手法、連携、枠組等を検討し推進する基本施策であり非常に強い関連性を持っています。

## 3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

## (1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

基本施策「総合計画の推進と未来の価値の創造」を進めるために、総合計画を軸としたマネジメントをしっかりと推進するとともに、そのマネジメントを支える市民ニーズや統計情報等の情報収集、市民が必要な情報発信などを推進します。また、総合計画の展開戦略の一つである若者定住の具体的な取組を進めるとともに、総合計画の目標に向けた取組に加速度を与えるため、総合計画のすべての推進に関わる新たな手法や連携の枠組みの具現化を進めます。また、現状に留まらず未来を見据え、更には新たな総合計画の策定も踏まえ、滝沢市が活力ある住みやすい地域であり続けるための事業企画、事業推進の仕組み、人的ネットワークの構築を図ります。

## (2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、令和 3年度の重点課題

- ・後期基本計画のマネジメントを進めるとともに、展開戦略である健康づくり、若者定住の推進を図ります。
- ・総合計画推進のための新たな手法、連携の具現化を進めるとともに、新たな総合計画の策定に着手します。
- ・まち・ひと・しごと総合戦略及び国土強靱化計画の推進を図ります。
- ・市民との対話、連携の新たな手法の模索を引き続き進めます。
- ・様々な世代や様々な場面における情報発信の手法について、調査し、検討を引き続き進めます。

## (3) 基本計画期間及び令和 3年度重点課題に基づく優先順位の考え方

総合計画後期基本計画を進めるためのマネジメントの推進、展開戦略の推進を軸として進めるとともに、新しい総合計画の調査と検討を進めます。更には、市民ニーズの収集、連携、情報発信などについて、調査し具現化に向けた取組を着実に進めます。

